

主題:サーキュラーエコノミーを目指すプラスチックのリサイクル技術

<趣旨>日本におけるプラスチックのリサイクル率は約 85%ですが、その約 3 分の 2 をサーマルリサイクルが占めています。サーキュラーエコノミーの概念が急速に広まりつつある昨今では、プラスチックもマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルを通じてプラスチック材料として再利用されることが望まれるようになってきています。それには、エネルギー投入の少ない効率的な方法で性能が高いリサイクル材を作り出す技術が必要となります。今回、高効率、高品位なプラスチック材料としての利用を可能にするリサイクル技術の研究、開発をリードなさっている講師の方々にご講演いただきます。

主催 高分子学会 東海支部

協賛 日本化学会東海支部、化学工学会東海支部、
電気化学会東海支部、自動車技術会中部支部、東海化学工業会、
色材協会中部支部、日本油化学会東海支部日時

日時 2022 年 9 月 29 日(木)

会場 オンライン(Zoom を使用)

プログラム(案)

<10:00~11:00>

①「汎用樹脂及び難分解性エンジニアリングプラスチックのケミカルリサイクル技術の開発」

(産業技術総合研究所)吉田勝

<11:05~12:05>

②「プラスチックの自己循環型マテリアルリサイクル技術」

(シャープ)福嶋容子

<13:15~14:15>

③「炭素循環を実現するプラスチックのケミカルリサイクル」

(東北大学)吉岡敏明

<14:20~15:20>

④「精密熱分解による次世代型プラスチック『ポリプロピレン 2.0』」

(三栄興業)佐々木大輔

<15:30~16:30>

⑤「炭酸水を用いたポリウレタンの化学原料化」

(長崎大学)本九町卓

参加要領

- 1) 定員 80 名(先着順)
- 2) 参加費 ①一般 4,000 円(消費税含) ②学生無料 なお、今回は要旨集を発行いたしません
- 3) 申込方法 [東海ミニシンポジウムのお申し込みはこちら](#) からお申し込みください。
- 4) 参加費 銀行振込(三井住友銀行名古屋支店普通預金口座 5557774 高分子学会 東海支部)でお支払いください。なお、振込手数料につきましては、申込者にてご負担ください。
- 5) 申込締め切り・振込期限 9 月 22 日(木)
- 6) 参加登録キャンセル、9 月 27 日(火)までに高分子学会東海支部までメールにてご連絡ください。納入していただきました参加費を返金させていただきます。なお、キャンセル期限後のキャンセルは、お受けできませんのでご了承ください。

【連絡先】

高分子学会東海支部 犬飼としみ 052-231-3070 E-mail : koubunshi@cstc.or.jp

豊田中央研究所 岡本浩孝 0561-71-7125 E-mail : h-okamoto@mosk.tytlabs.co.jp